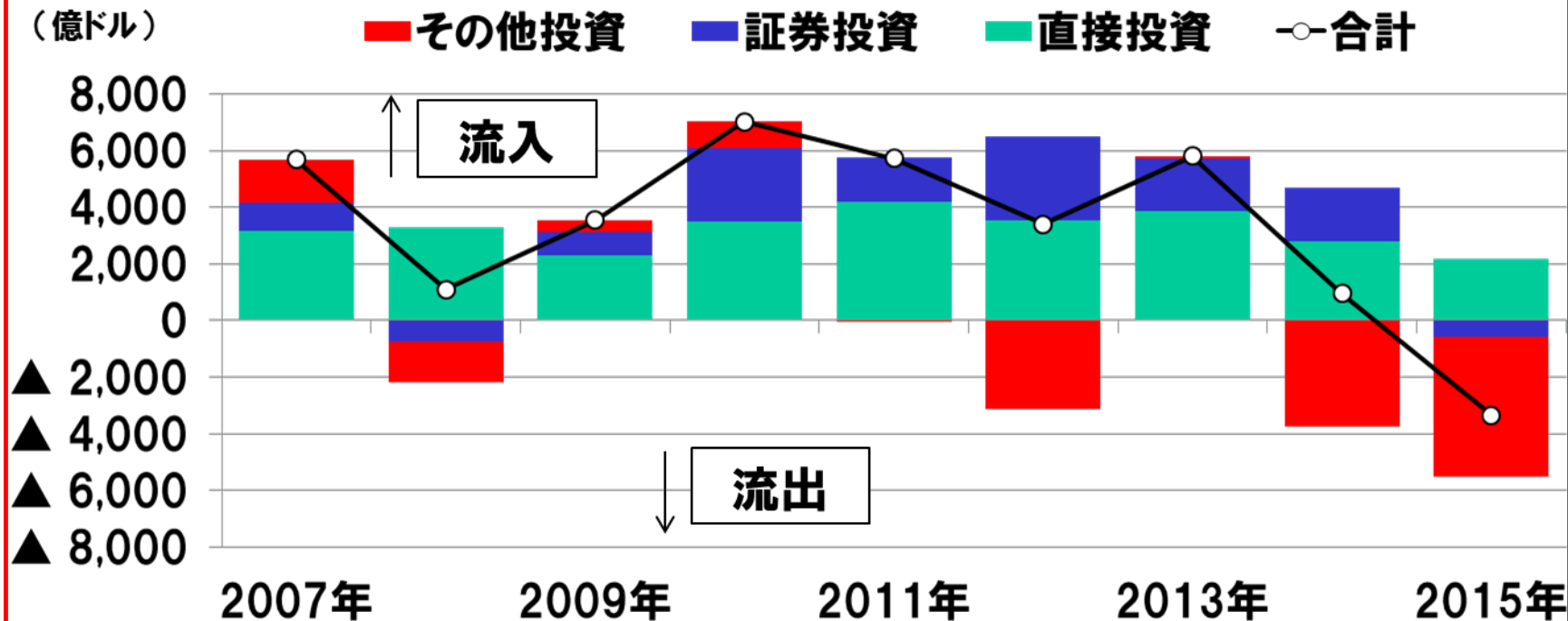


期待される国際資金フローへの政策対応

大和総研 金融調査部

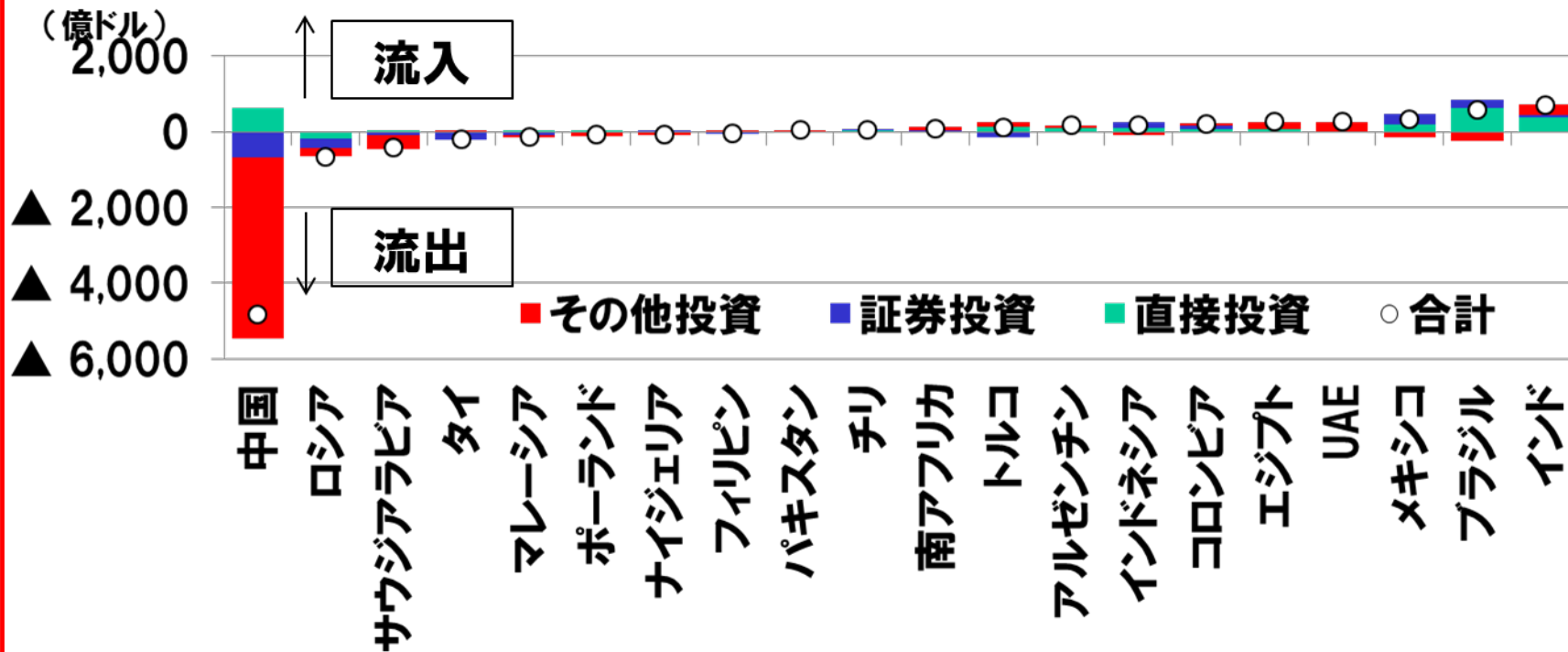
研究員 矢作大祐

新興国の資金フローの推移



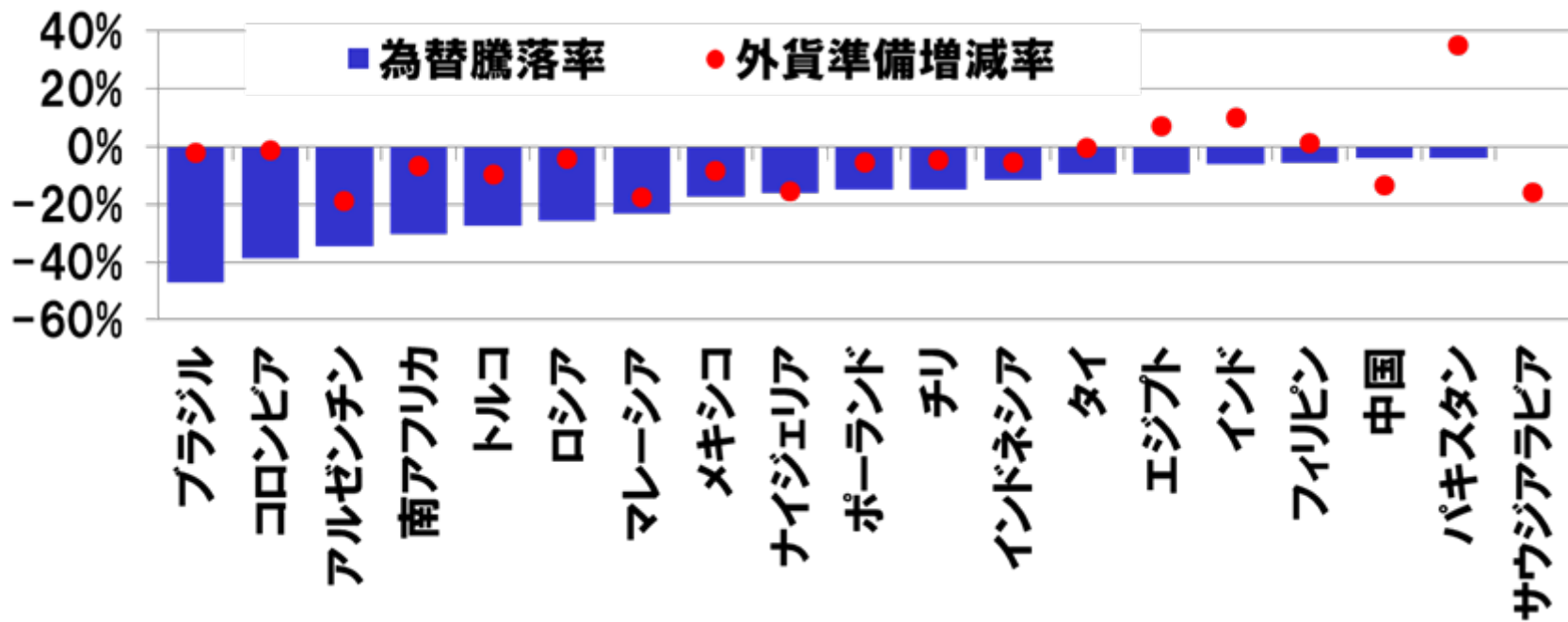
(出所) Haver Analyticsより大和総研作成

新興国の資金フロー(2015年、各国別)



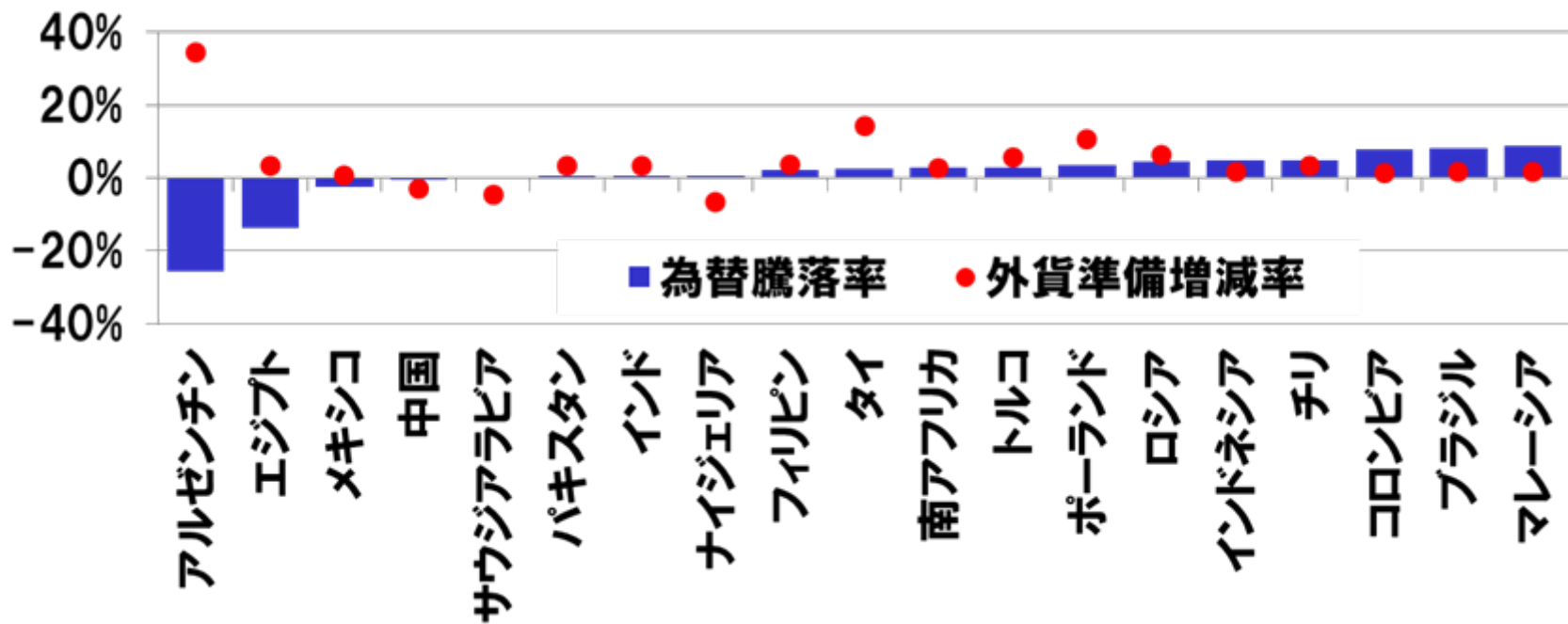
(出所)Haver Analyticsより大和総研作成

新興国通貨と各国の外貨準備(2015年)



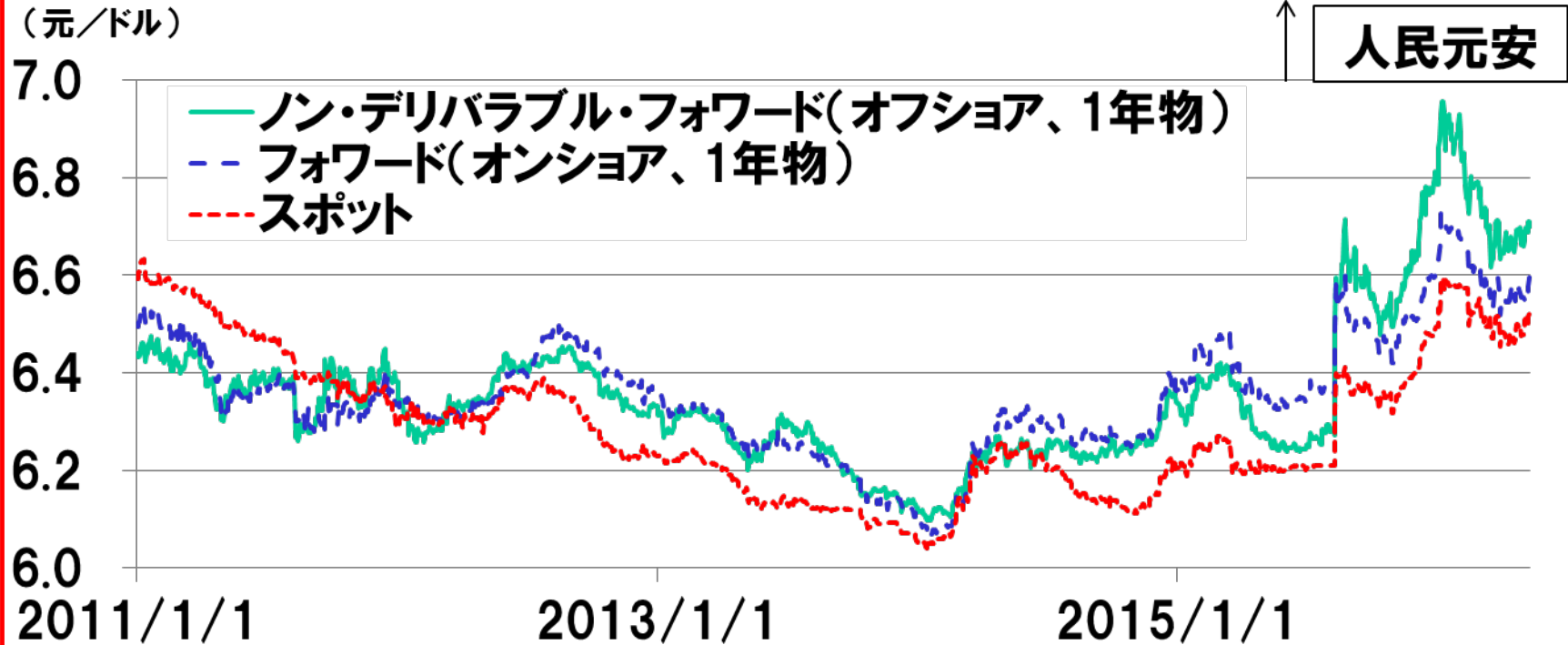
(出所)Haver Analyticsより大和総研作成

新興国通貨と各国の外貨準備(2016年1～4月)



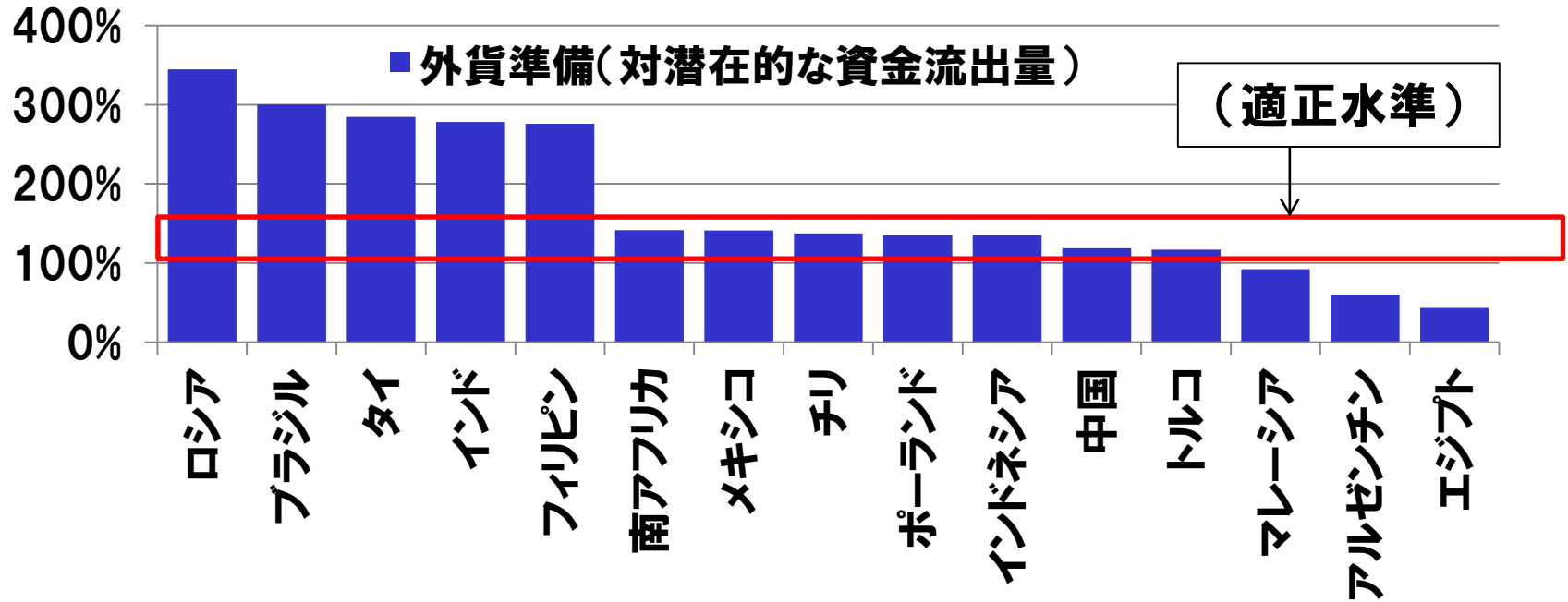
(出所)Haver Analyticsより大和総研作成

中国人民幣元レートの推移



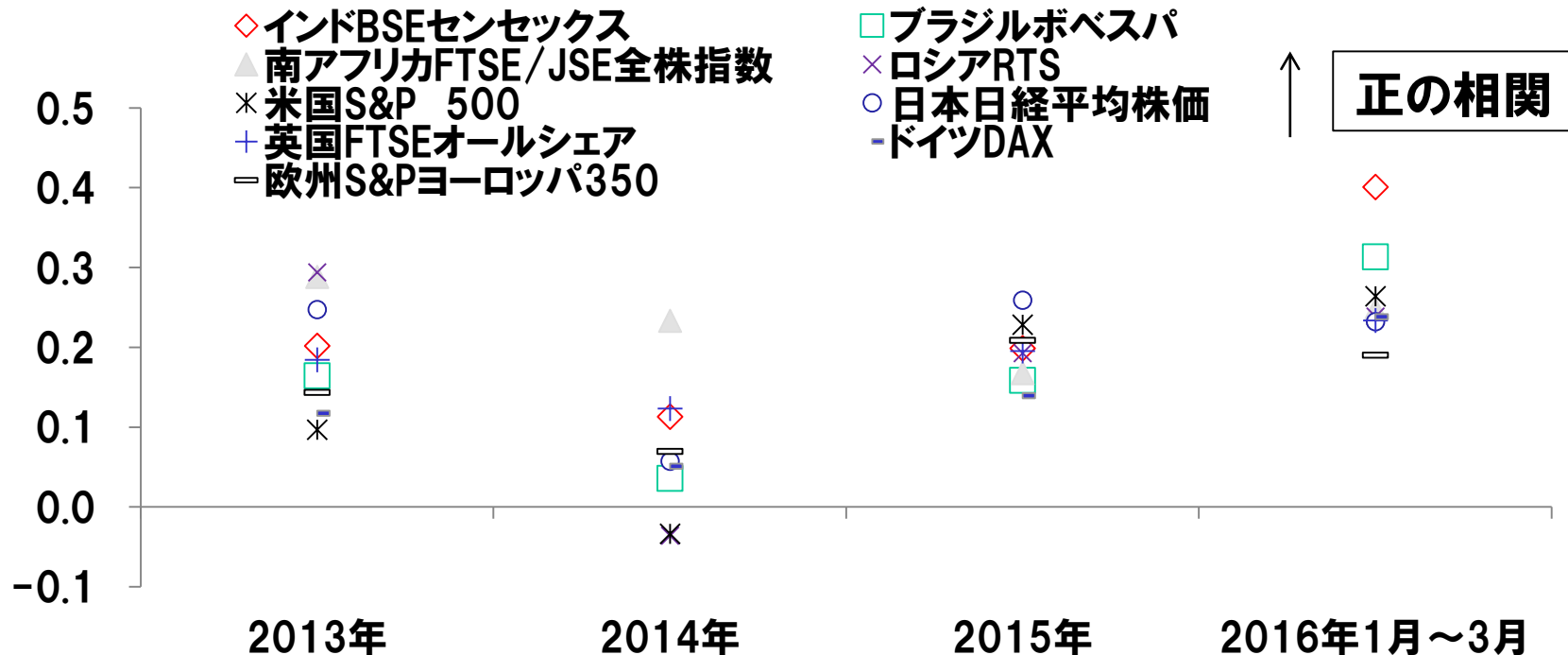
(出所)Haver Analyticsより大和総研作成

外貨準備の適正水準



(出所)IMF、Haver Analyticsより大和総研作成

上海総合株価指数と主要株価指数の相関関係



(出所)Haver Analyticsより大和総研作成

資本規制の現状と課題

	経済成長率 (%)	経常収支 対GDP比(%)	金融収支 対GDP比(%)	外貨準備 増減率(%)	外貨準備対輸 入月数(ヵ月)
マレーシア (1998年)	▲ 7.4	12.3	▲ 2.5	20.7	4.5
アルゼンチン (2001年)	▲ 4.4	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 42.1	6.3
アイスランド (2009年)	▲ 4.7	▲ 9.7	▲ 38.2	8.5	8.8
ウクライナ (2009年)	▲ 15.1	▲ 1.4	▲ 4.0	▲ 16.0	5.7
中国 (2015年)	6.9	3.1	▲ 2.7	▲ 13.3	20.0

(出所)Haver Analyticsより大和総研作成

各種セーフティネットの概要

外貨準備

主要新興国、先進国の外貨準備は約8兆ドル

バイスワップ(二国間通貨スワップ)

先進6ヵ国中央銀行による常設・無制限スワップラインや人民元スワップ

リージョナルスワップ(地域金融協力、多国間通貨スワップ)

代表的なリージョナルスワップは約1兆ドル

グローバルセーフティネット

2800億ドルのSDRやIMFの緊急貸出(合計約6,600億ドルの資金基盤)

(出所)IMF、Haver Analyticsより大和総研作成

セーフティネットの課題

外貨準備	<ul style="list-style-type: none">・ 危機が長期間続いた場合、容易に枯渇する可能性
バイスワップ	<ul style="list-style-type: none">・ 利用期間が短期間に限定
リージョナルスワップ	<ul style="list-style-type: none">・ 地域全体が危機に至った場合には限界がある
グローバルセーフティネット	<ul style="list-style-type: none">・ 支援に至るまで時間がかかる・ 過去に利用した国にはトラウマが残る

- ・ 欧州債務危機といった巨額の支援が必要となった事例を踏まえれば、IMF、バイ・リージョナルスワップを含むセーフティネットの充実化は不可欠
- ・ G20議長国の中国は、資金フローやセーフティネットに関する議論を行うワーキンググループを設立
 - 9月の杭州サミットに向け、協力が進むかが焦点